



SOY CMSを使って
みよう！

其の② コンパクトな企業
サイトを作ってみる、編

SOY CMSを使ってみよう！



今回は、SOY CMSをサイトに導入するにはどうすればいいか、コンパクトなよくあるパターンの企業サイトを例として解説していきます。

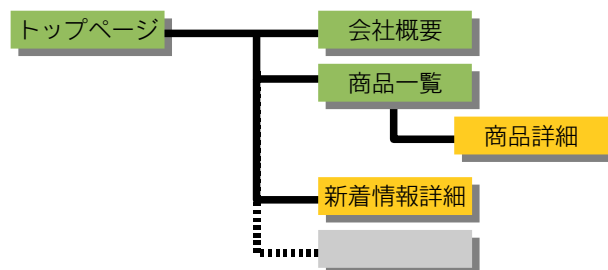
● まずは下準備から

SOY CMSを導入する前に、まずはサイトをどのようなものにするか考えなければなりません。他のCMSでは、どんなページがそのCMSのどの機能で実現できるかしっかり考えてサイト設計する必要がありますが、SOY CMSの場合はコンテンツ（エントリー）をどのページでも好きに表示することができるので、ページを「標準ページ」と「ブログページ」のどちらで表現するのか決めればよだけで、かつ対応できる範囲が非常に広く、サイト設計時に考えなければならないことはほとんどありません。

次に、ビジュアルデザインとHTMLのマークアップが必要になりますがここでもあまり気を使うことはありません。せいぜい、block:idやcms:idを記入しやすいように、読みやすいマークアップを心がけるという程度です。

ここでは、上記のことは全て済んだところから話を始めます。言い換えれば、HTMLファイルでシステムを使わない昔ながらのWebサイトの公開準備が整ったところ、といってもいいかもしれません。

● サンプルで作ってみるサイトの構成



今回は、この図のような構成を考えたいと思います。■のページは、コンテンツが増えてもページが増えることはないページ、■のページはコンテンツが増えるごとにページも増えていくページです。前者のようなものは「標準ページ」、後者は「ブログページ」で作るのが一般的なパターンです。

実際に作ってみたサイトを下記に公開しておりますのでご覧ください。

<http://demo2.soycms.net/>

このサイトは、Re:Creator's Kansaiのブログで解説したものと同じです。



元データのHTMLファイル、画像ファイル、CSSファイルは下記からダウンロードいただけますので、まずはこちらをサーバのドキュメントルート直下に設置してください。

http://www.soycms.net/web/files/manual/soycms_samplesite_20090303.zip

次のページ以降、HTMLファイルのコーディングまで終ったところからどうやってCMSを組み込んでいくのか説明していきます。

「サイト」を作る



SOY CMSでは、まずは「サイト」を作ります。SaaS版

<http://www.soycms.net/>

ではアカウント作成時にひとつサイトが作られ、そこにログインする仕組みになっているのでこの章は関係ありません。

● 「サイト」の作成

用語の説明は「SOY CMSを使ってみよう！其の① 特徴・用語解説編」をご覧ください。ここでは具体的に「サイト」の作成を行います。



サイトには、
`http://設定したドメイン/<SiteID>/`
でアクセスできるようになります。
ただ、もちろん
`http://設定したドメイン/`
を設定できないなんてことがあってはいけませんよね？そこで作成した

サイトのうちひとつだけを「ルートサイト設定」することができます。

「ルートサイト設定」したサイトは

`http://設定したドメイン/`

でアクセスできるようになります。

今回はサイトはひとつしか作りませんので、ルートサイト設定を行っておきましょう。



サイト作成を実行すると、「作成しました」のメッセージとともに「サイト一覧」画面に移動し、サイトの情報が表示されます。

ルート設定が完了すると、サイトのURL情報の表示も変更されます。二つのURLどちらもアクセスできるようになりますが、それが嫌という方は.htaccessを編集してリダイレクトするようにする等してください。

これで「サイト」作成は完了です。とはいってもまだ箱を作っただけの状態、この「サイト」にはページもコンテンツも全く存在していません。なので、アクセスしても404NotFoundが表示されるだけです。そこで次に、サイト管理画面にログインして「サイト」の中身を作っていきます。

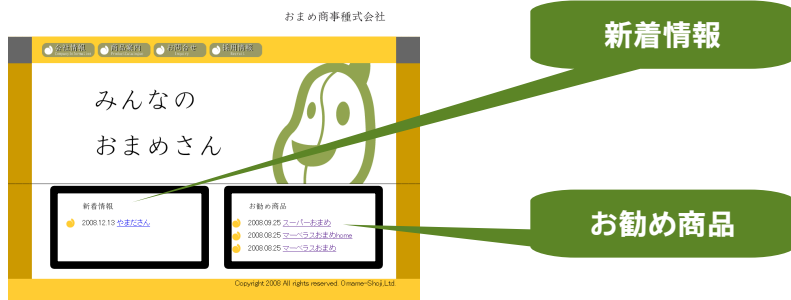
ページのどこを書き換えるか決める



◆ それぞれのページを考える

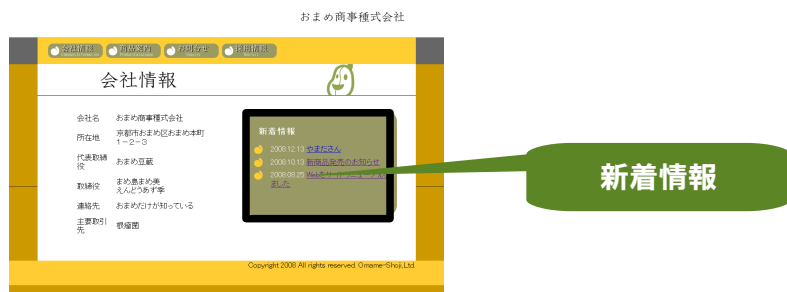
ではCMSの操作に入る前に、それぞれのページのコンテンツがどのように追加・更新されるのか考えていきます。

◆ トップページ



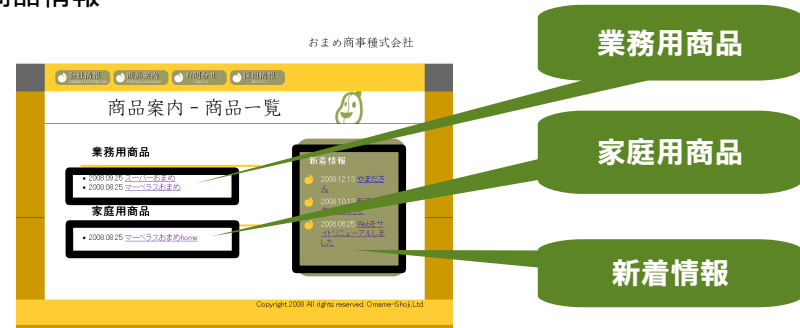
新着情報とお勧め商品情報を「エントリー」で追加できるようにします。また、それぞれの記事ではその詳細ページ（商品詳細、新着情報詳細）の該当する情報のページへのリンクを張ります。

◆ 会社情報



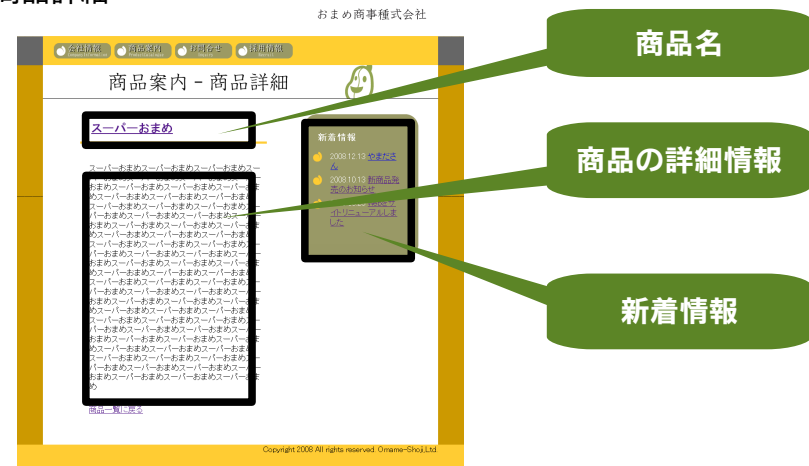
会社情報のページにも、新着情報は表示されます。

◆ 商品情報



このページにも新着情報は表示します。また、商品情報を業務用商品と家庭用商品とに分けて表示します。商品名からは商品の詳細ページへリンクを張ります。

◆ 商品詳細



このページにも新着情報は表示します。また、商品名と商品の詳細情報をエントリーで管理できるようにします。

◆ 新着情報詳細

商品詳細ページと同様です。

エントリーの使いかたを決める



考えたサイトの更新方法をどのようにすれば効率よく実現できるか、エントリーの構造と管理方法を決めましょう。

● エントリーの構造

エントリーは

- ◆ タイトル
- ◆ 本文
- ◆ 追記
- ◆ 作成日

の情報をひとまとめにしたものです。サイトを更新するときひとかたまりとなる情報をこれに当てはめていく必要があります。最初から同梱してあるカスタムフィールドプラグインを使えばこれ以外にも自由に項目を追加することができますが、今回はそれは行わず基本項目だけで管理することを考えます。

◆ 新着情報

新着情報で更新される情報は、ページごとに下記の通りです。

全てのページ . . . 新着情報の見出し
新着情報詳細ページ . . . 新着情報の見出し
新着情報の詳細

これより、エントリーを下記のように使用することにします。

タイトル . . . 新着情報の見出し
本文 . . . 新着情報の詳細
追記 . . . 使わない

◆ 商品情報

商品情報で更新される情報は、ページごとに下記の通りです。

トップページ . . . お勧め商品名
商品一覧 . . . 業務用商品名
家庭用商品名
商品詳細 . . . 商品名
商品の詳細

これより、エントリーを下記のように使用することにします。

タイトル . . . 商品名
本文 . . . 商品の詳細
追記 . . . 使わない

● ラベルの使い方

新着情報は「新着情報」ラベルで管理しましょう。商品情報は、まず「商品情報」ラベルが必要になる他、その中で「お勧め商品」「業務用商品」「家庭用商品」の区別があるのでそれらのラベルも作成します。

あわせて、このサイトでは次の5つのラベルが運用に使用されることになります。

- ◆ 新着情報
- ◆ 商品情報
- ◆ お勧め商品
- ◆ 業務用
- ◆ 家庭用



「エントリー管理」の「ラベル管理」からこれらのラベルを作成しておきましょう。

ページを作る①



今度は、作成した「サイト」内に「ページ」を作っていきます。HTML ファイルをひとつずつFTPでアップロードしていく感覚で、順にサイトマップができてくる様子をイメージしてください。

● ページの作成

例として、初回ログインからトップページの作成までを行います。



ページ新規作成

サイトに初めてログインしたときには、このようなウィザードが表示されます。今回は、ウィザードは使わず「ページ新規作成」をクリックしてください。



ページのタイトル、URLを入力してください。

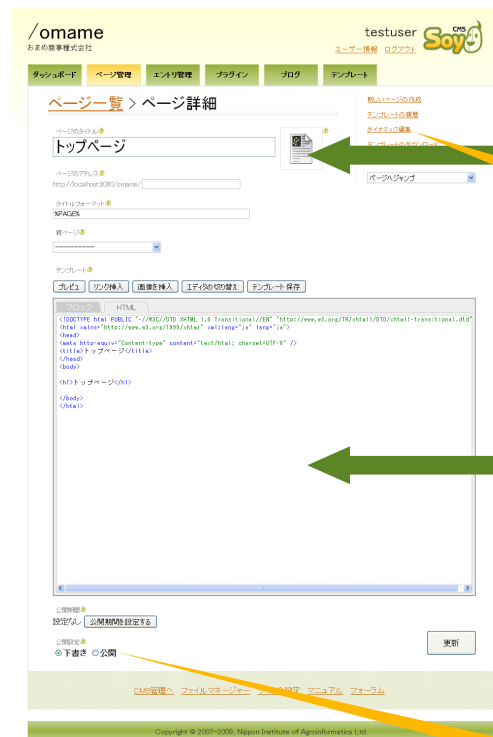
トップページは、コンテンツが増えてもページが増えることはないページなので「標準ページ」を選択します。

トップページは
`http://設定したドメイン/`
で表示されてほしいので、URLは空欄にしておきます。そうすれば、
`http://設定したドメイン/index.html`
というパスにあったアクセスに対しても同じ情報を表示するようになっています。

「テンプレートを選択」「親ページ」は一旦無視してください。

● 標準ページ詳細画面

ページを作成すると、作成したページの詳細画面に移動します。



タイトルやURLには先ほど入力した情報が入っています。

プレビューは「ダイナミック編集」から行います。

この欄にページのテンプレートを記入します。試しに、作成したHTMLをそのまま貼り付けてみてください、パスの記述の問題でCSSが読み込めないなどのことが無ければ、作成したHTMLと全く同じものが表示されます。

公開の設定

作成したページは、公開の設定が
公開期間内（もしくは設定なし）
かつ
公開設定が「公開」

の場合のみ表示されます。ひとまずここは「公開」にしておいてください。

ページを作る②



同様に、他のページも作っていきましょう。

ページ一覧



必要なページを全て作成した状態の、「ページ管理」画面です。「ページが見つかりません」というページがあるのはエラーではありません。この「サイト」で存在しないページにアクセスがあったときに表示される、エラーのページです。

なおこの画面は、「表示変更」から下記の2パターン「一覧表モード」「サイトマップモード」に切り替えることができます。



一覧表モード



サイトマップモード

さて、2ページの「SOY CMSを使ってみよう！」で作ることにしたページに少し足りませんよね？これは、商品一覧ページを商品案内の一覧を「ブログページ」の「ブログトップページ」を使って、同じく詳細ページを「エントリーページ」を使って表現することを考えてみたからです。

ブログページ設定画面

「ブログページ」は、関連付けられているエントリーの増減によって自動的にいくつかのページが生成されるというものです。まずは作成したブログページの編集画面に入り、一番上の機能メニューから「設定」を選んでください。



ブログページ機能メニュー

ラベル設定

このブログページは商品情報を表示するためのものですから、「使用するラベル」は「商品案内」を選択してください。カテゴリは使用しません。なお、ラベルが無い状態でブログページを作成すると、同時に自動的に作られます。

ページ生成の設定

ページ生成の設定では、ブログページで生成されるページのうちどれを生成するか、どのようなURLで生成するか設定します。今回は「ブログトップ」と「エントリーページ」だけ使用します。それぞれのページのテンプレートは機能メニュー「テンプレート」から編集します。月別とカテゴリ別の両アーカイブページのテンプレートは共通です。

各ページの設定①ー i トップページの作成



では、いよいよそれぞれのページの設定を進めていきます。画像やCSSはファイルに先にアップロードしておいてください。

● テンプレート化

テンプレートの記法は、SOY CMSの大きな特徴のひとつです。なんと、いってもHTMLほとんどそのまま。元のファイルは<http://demo2.soycms.net/realfile.html>で公開していますので、ここでは「ページのどこを書き換えるか決める」で決めた、書き換え対象となる部分だけ抜粋します。

```
<div id="content_left">
  <div id="news">
    <h2 id="news_h2">新着情報</h2>
    <ul class="top_list">
      <li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
      <li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
      <li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
    </ul>
  </div>
</div>
<div id="content_right">
  <div id="recommend">
    <h2 id="recommended_h2">お勧め商品</h2>
    <ul class="top_list">
      <li>2008.8.16 ここにお勧め商品情報が入ります</li>
      <li>2008.8.16 ここにお勧め商品情報が入ります</li>
      <li>2008.8.16 ここにお勧め商品情報が入ります</li>
    </ul>
  </div>
</div>
```

この二箇所が書き換え対象

「トップページ」詳細管理画面のテンプレートエディタ部分に元のファイルのHTML全体を貼り付け、この部分を編集していきます。

新着情報も商品情報も操作は全く同じですので、ここでは新着情報の方だけブロック化の具体的な手順を解説します。

```
<!-- block:id="news" -->
  <li><span cms:id="create_date"
  cms:format="Y.m.d">2008.8.16</span> <span cms:id="title">
  ここに新着情報が入ります</span></li>
<!-- /block:id="news" -->
<!-- cms:ignore -->
  <li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
  <li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
<!-- /cms:ignore -->
</ul>
```

テンプレート化されたHTML

<!-- block:id="*" -->と<!-- /block:id="*" -->で囲まれた部分が「ブロック」として認識され、はめ込まれるエントリーの数だけ同じ部分に「ブロック」の部分のHTMLが繰り返し表示されます。また繰り返しの度に属性cms:id="###"が記入されたタグの中身がエントリーの情報に書き換えられます(<li cms:id="title">この部分)。cms:idが" title" ならタイトル、" content" なら本文、" more" なら追記、" create_date" なら作成日に書き換えられます(create_dateの場合、cms:formatという属性で書式を設定します)。block:idは任意に設定してください。なお、wysiwygエディタとの関係で、cms:idをpタグに指定するのは危険です。

block:idやcms:idの記入が终れば一旦保存してください。

● ブロックの設定

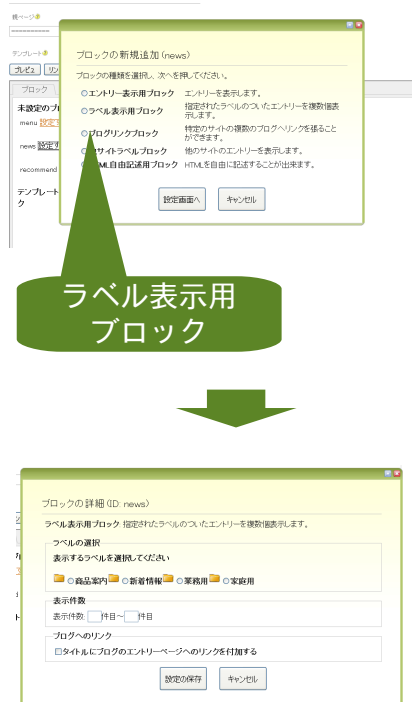
「ブロック」



未設定のブロック

エディタの「ブロック」タブをクリックすると、ブロックの状態が表示されます。先ほど記入したblock:idが「未設定のブロック」に表示されていることを確認してください。

各ページの設定① – ii トップページの作成

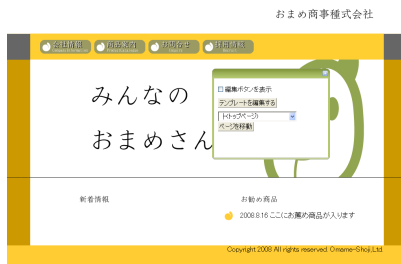


未設定のブロック「news」の「設定する」を押すと、このように表示されます。ここでは、「ラベル表示用ブロック」を選択してください。ラベルは「エントリーの使いかたを決める」で作っておきましたよね？

ラベル「新着情報」を選択してください。表示件数は1件目～5件目としておきましょう。

ブログへのリンクは、後で詳しく説明しますがひとまずチェックを入れて「新着情報」を選択してください。

これでブロックの設定は完了です。では早速「ダイナミック編集」から確認して見ましょう。



あれ？新着情報が表示されません。どうしてでしょう？

これはエラーではありません。ブロックが正しく動作していることの証拠です。なぜなら、今の段階ではまだはめ込むべき「エントリー」が作成されていないからなんです。

エントリーの作成



エントリーの新規作成アイコンをクリックしてください。



タイトル

本文 or 追記
(タブで切替えます)

「新着情報」ラベル
を選択してください

公開設定
(ページと同様です)

「公開」状態にして「作成」ボタンを押します。



今度はちゃんと新着情報が表示されました！

各ページの設定② 会社情報ページ



トップページに引き続き、会社情報ページを作成します。

元のHTMLファイルはこちらです。

http://demo2.soycms.net/company_information/realfile.html

● テンプレート化

さきほどと同様。「会社情報」ページの詳細編集画面に入り、テンプレートエディタに上のファイルのHTMLを全て貼り付けます。下記はブロック化する部分の抜粋です。

```
<div id="content">
  <div id="content_left">
    <table>
      <tr><td>会社名</td><td>おまめ商事株式会社</td></tr>

      <tr><td>所在地</td><td>京都市おまめ区おまめ本町1-2-3</td></tr>
      <tr><td>代表取締役</td><td>おまめ豆蔵</td></tr>
      <tr><td>取締役</td><td>まめ島まめ美<br />えんどうあず季</td></tr>
      <tr><td>連絡先</td><td>おまめだけが知っている</td></tr>

      <tr><td>主要取引先</td><td>根瘤菌</td></tr>
    </table>
  </div>
  <div id="content_right">
    <div id="news_box_top"></div>
    <div id="news_box_body">
      <h3>新着情報</h3>

      <ul class="top list">
<!-- block:id="news" -->
        <li><span cms:id="create_date" cms:format="Y.m.d">2008.8.16</span>
          <span cms:id="title">ここに新着情報が入ります</span></li>
<!-- /block:id="news" -->
<!-- cms:ignore -->
        <li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
        <li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
<!-- /cms:ignore -->
      </ul>
    </div>

    <div id="news_box_bottom"></div>
  </div>
</div>
```

このページでCMSで書換えの対象とするのは新着情報のところだけです。このページと同様にブロック化します。以降も全く同じなので詳細は割愛します。

● block:idとcms:idの記法

block:idとcms:idの追加は、今まで説明した他にも方法があります。もしよろしければ、ここでお試しになってみてください。

block:id
適当なタグとそのタグに対応する閉じタグにblock:idを記入しても、そこがブロックとして認識されます。

```
<div block:id=" ###" >~~~~</div block:id=" ###" >
```

cms:id
先述のblock:idと同じようにコメントタグでも記述できます。HTMLのタグにcms:idを追加する場合は閉じタグへの記述は不要（開始タグにさえ記入していれば閉じタグがどれかは自動判定される）ですが、コメントタグを用いる場合は終了部分を明記する必要があります。

```
<!-- cms:id=" title" -->~~~~<!-- /cms:id=" title" -->
```

block:idやcms:idおよび設定のためのコメントタグはサイト表示時には全て消えた状態になります。ブロックの設定を行わなければそのまま表示されてしまいますのでご注意ください。

また、cms:idをHTMLタグに記述する場合、そのタグに付加されている本来の属性値(classやid等)はそのまま表示されます。ブロックの動作がそれらに影響を与えることはありません。

各ページの設定③ー i 商品一覧ページ



次は「商品情報」ページです。このページは「ブログページ」の「ブログトップページ」を使って表示すると先に説明しましたが、具体的にはどのように設定するのでしょうか。ページ詳細編集画面に入ると、このように表示されると思います。



機能メニュー
「ブログ」

ブログページでは、
ブログトップ
アーカイブページ
エントリーページ
それぞれのテンプレートを
設定します。「アーカイブ
ページ」は、月別とカテゴ
リ別のアーカイブ両方に使用
されます。



現在のページの
テンプレートを編集しているか表示

ここでは「ブログトップ」
ページを使用します。これ
は、ブログページ機能メ
ニュー「設定」で設定され
ている、このブログで使う
ラベルがついた「エント
リー」を新着順（もしくは
設定した並び順）にいくつ
か表示するためのページで
す。

ブログページ新規作成時には
シンプルなブログのテンプレートが
記入された状態になって
います。テンプレート記述の
参考にしてください。

● ブログページと標準ページとの違い

ブログページのテンプレートも、標準ページのそれと記法は全く同じです。ひとつ違うのは、ブログページではブログを表現するのに使うような様々な機能をブログブロックというブログページ専用のブロックで呼び出すことができるということです（標準ページと同じ、通常のブロックももちろん使えます）。ブログブロックを使用するにはb_block:idをblock:idと同じように記入します。block:idは自由に決められましたが、b_block:idは機能によって最初から決まっている値を用います。また、テンプレートに記入するだけで、ブロックの設定を行うこと無しに動作します。どのようなブロックがあるかは公式サイト上のマニュアルをご覧ください。

<http://www.soycms.net/man/blog/template>

今作成しようとしている「商品一覧」ページでは、このような機能を利用することはありませんので「標準ページ」と同じくblock:idとcms:idだけテンプレートに記入していきます。

標準ページに無い、ブログトップページの機能
(今回のサイトでは関係ありません)

ブログブロック (b_blockを記入) が使える
エントリー数が設定している数より多くなった場合、自動的に「次のn件」のページが生成される (リンクはブログブロックで作成)

元のHTMLファイルはこちらです。

http://demo2.soycms.net/product_catalogue/realfile.html

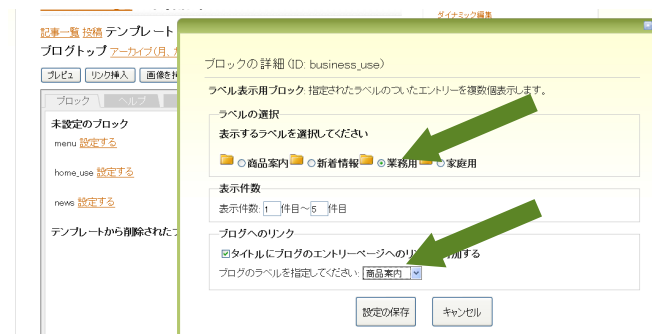
● テンプレート化

```
<div id="content">
<div id="content_left_wide">
<h2>業務用商品</h2>
<ul>
<!-- block:id="business_use" -->
<li><span cms:id="create_date" cms:format="Y.m.d">2008.8.16</span>
<span cms:id="title">ここに商品名が入ります</span></li>
</!-- /block:id="business_use" -->
<!-- cms:ignore -->
<li>2008.8.16 ここに商品名が入ります</li>
<li>2008.8.16 ここに商品名が入ります</li>
</!-- /cms:ignore -->
</ul>
<h2>家庭用商品</h2>
<ul>
<!-- block:id="home_use" -->
<li><span cms:id="create_date" cms:format="Y.m.d">2008.8.16</span>
<span cms:id="title">ここに商品名が入ります</span></li>
</!-- /block:id="home_use" -->
<!-- cms:ignore -->
<li>2008.8.16 ここに商品名が入ります</li>
<li>2008.8.16 ここに商品名が入ります</li>
</!-- /cms:ignore -->
</ul>
</div>
<div id="content_right_thin">
<div id="news_box_top_thin"></div>
<div id="news_box_body_thin">
<h3>新着情報</h3>
<ul class="top_list">
<!-- block:id="news" -->
<li><span cms:id="create_date" cms:format="Y.m.d">2008.8.16</span>
<span cms:id="title">ここに新着情報が入ります</span></li>
</!-- /block:id="news" -->
<!-- cms:ignore -->
<li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
<li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
</!-- /cms:ignore -->
</ul>
</div>
<div id="news_box_bottom_thin">
</div>
</div>
</div>
```

このページでブロック化するのはこの3箇所です。今までのページと同様、ブロック”business_use”、”home_use”並びに”news”のブロック設定を行います。

● ブログページへのリンク

“business_use”には、「業務用」ラベルのついたエントリーを5件表示することにします。そして、タイトルにその商品の詳細ページへのリンクを張らなければなりません。「ラベル表示用ブロック」では、設定に「タイトルにブログのエントリーページへのリンクを付加する」という項目があり、サイトのトップページを作成したときにも商品情報と新着情報それぞれのブログにリンクを行うよう設定しました。そのときは、そこで表示するラベルと、リンク先のブログで使われているラベルは同じものでしたが、今回は表示するラベルは「業務用」、リンク先のブログのラベルは「商品案内」です。



ラベル表示用ブロックでブログエントリーページへのリンクを張る場合

`http://***/<リンク先のブログページのURL>`
`/<当該ブログページのエントリーページのパス>`
`/<当該エントリーのタイトル>`

というURLへのリンクを機械的に出力するだけで、そのブログで当該エントリーが表示されているかどうかのチェックは行いません。このため、このような柔軟な設定ができるのですが、ラベルのつけ方を間違えると404NotFoundになってしまいます。ここでは、「業務用」ラベルは必ず「商品案内」ラベルとセットにして付けるようにしてください。

各ページの設定④ 商品詳細ページ



続いて商品詳細ページを設定します。元のHTMLファイルはこちらです。
http://demo2.soycms.net/product_catalogue/item/realfile.html
このページは「商品案内」ラベルがついたエントリーが増えるたびに1エントリーにつき1URL、増えていくので、「ブログページ」の「エントリーページ」を使います。

● URLの設定

ブログページの「設定」の下部、「ページ生成設定」の「エントリーページ」の「URL」のところを「item」にしておきましょう。今回は「ブログトップ」と「エントリーページ」以外は使わないので、「生成」のチェックを外しておいてもいいかもしれません。「生成」二チェックが入っていないページにアクセスがあった場合は、CMSによって出力される404NotFoundのページが表示されます。

ページ生成設定

ページの種類	生成	表示件数	URL	タイトルフォーマット
ブログトップ	<input checked="" type="checkbox"/>	10 件	/product_catalogue/	%BLOG%
エントリーページ	<input checked="" type="checkbox"/>		/product_catalogue/item <エントリー名>	%BLOG%
月別アーカイブページ	<input checked="" type="checkbox"/>	10 件	/product_catalogue/month ^/YYYY/MM	%BLOG%
カテゴリ別アーカイブページ	<input checked="" type="checkbox"/>	10 件	/product_catalogue/category <ラベル>/	%BLOG%
フィード出力	<input checked="" type="checkbox"/>	10 件	/product_catalogue/feed	

この設定をしておけば、後はラベル「商品案内」がついたエントリーを投稿することでエントリー毎に

http://***/product_catalogue/item/<当該エントリーのタイトル>

というページが生成されるようになります。同じサイトに同じタイトルのエントリーが複数ある場合は、自動的にURLに「<エントリー名>_2」という風に数値が付加され区別されます。

続いて、テンプレートの編集を行います。ブログページの機能メニューから「テンプレート」→「エントリー」を選んでください。

● テンプレート化

```
<div id="content">
<div id="content_left_wide">
<!-- b_block:id="entry" -->
<!-- cms:id="title" -->商品名</h2>
<div cms:id="content">商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明
商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明
商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明
商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明
商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明
商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明
商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明
商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明
商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明商品の説明
</div>
<p><a href="/product_catalogue/">商品一覧に戻る</a></p>
<!-- /b_block:id="entry" -->
</div>
<div id="content_right_thin">
<div id="news_box_top_thin"></div>
<div id="news_box_body_thin">
<h3>新着情報</h3>
<ul class="top_list">
<!-- block:id="news" -->
<li><span cms:id="create_date" cms:format="Y.m.d">2008.8.16</span>
<span cms:id="title">ここに新着情報が入ります</span></li>
<!-- /block:id="news" -->
<!-- cms:ignore -->
<li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
<li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>
<!-- /cms:ignore -->
</ul>
</div>
<div id="news_box_bottom_thin">
</div>
</div>
</div>
```

ここでいよいよブログブロック「b_block:id="entry"」を使います。これは、当該ブログページのエントリーページでそこに該当するエントリー、要するにURLの<当該エントリーのタイトル>のエントリーを表示するブロックです。cms:idは通常のブロックと同じです。ブログブロックは、エディタの「ブロック」タブを開いて行う設定は不要ですから、新着情報だけ今までと同様にブロックの設定を行ってください。

各ページの設定⑤ 新着情報詳細ページ



新着情報詳細ページも、商品詳細ページと同じ要領で作成します。

● ブログページ設定

ブログページの「設定」を行います。今度はもう少し丁寧にみていきましょう。

カテゴリ設定

使用するラベル

商品案内 新着情報 業務用 家庭用

カテゴリ別で使用するラベル

商品案内 新着情報 業務用 家庭用

ページ生成設定

ページの種別	生成	表示件数	URL	タイトルフォーマット
ブログトップ	<input type="checkbox"/>	10 件	/topics/	%BLOG%
エントリーページ	<input checked="" type="checkbox"/>		/topics/article/<エントリー名>	%BLOG%
月別アーカイブページ	<input type="checkbox"/>	10 件	/topics/month/YYYY/MM	%BLOG%
カテゴリ別アーカイブページ	<input type="checkbox"/>	10 件	/topics/category/<ラベル>/	%BLOG%
フィード出力	<input type="checkbox"/>	10 件	/topics/feed	

「使用するラベル」

「新着情報」を選びます。

「カテゴリ分けて使用するラベル」

ブログの中で、さらにエントリーをカテゴリ分けしたいときにも「ラベル」を使います。今回は使用しません。

このブログページで使うのは「エントリーページ」だけです。他のチェックははずしておきましょう。フィード出力を行いたいなら、「フィード出力」にはチェックを入れておいてください。

http://***/topics/article/feed?feed=rss で RSS2.0
http://***/topics/article/feed?feed=atom で Atom

を出力します。フィード出力する場合はサイトのトップページのテンプレートのヘッダに

```
<link rel="alternate" type="application/rss+xml" title="###"  
href="http://***/topics/article/feed?feed=rss" />
```

等の記述を追加することをお勧めします。

● テンプレート化

```
<div id="content">  
<div id="content_left_wide">  
<!-- b_block:id="entry" -->  
<h2 cms:id="title">商品名</h2>  
<div cms:id="content">新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細  
新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細  
新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細  
新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細  
新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細  
新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細  
新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細  
新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細内容新着情報の詳細  
</div>  
<p><a href="/">トップに戻る</a></p>  
<!-- /b_block:id="entry" -->  
</div>  
<div id="content_right_thin">  
<div id="news_box_top_thin"></div>  
<div id="news_box_body_thin">  
<h3>新着情報</h3>  
<ul class="top_list">  
<!-- block:id="news" -->  
<li><span cms:id="create_date" cms:format="Y.m.d">2008.8.16</span>  
<span cms:id="title">ここに新着情報が入ります</span></li>  
<!-- /block:id="news" -->  
<!-- cms:ignore -->  
<li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>  
<li>2008.8.16 ここに新着情報が入ります</li>  
<!-- /cms:ignore -->  
</ul>  
</div>  
<div id="news_box_bottom_thin">  
</div>  
</div>  
</div>
```

これで、一通りのページの設定が終了しました。いかがでしたでしょうか？

もし、たとえば新着情報一覧のページがほしければどう追加したらいいでしょうか？答えは二つあります。「新着情報」ブログページの「ブログトップページ」を使うか、標準ページを作ってブロックを設定することで表示するかです。SOY CMSの使い方の雰囲気がかためてきましたでしょうか？

日々の管理に便利な機能



ここまでで、サイトの構築は完了しました。では、その後のコンテンツの追加はどうすればよいのでしょうか？しっかり充実させていってこそ、CMSを導入した価値があるというものです。

● エントリー管理者

このサイトでは新着情報と商品の情報を「エントリー」を使って管理することにしました。つまり、それらの「エントリー」を追加したり、編集したり、削除したり、公開期間を設定したりというのが日常のサイトメンテナンスにおける作業になります。その作業はもちろん、今まで使用してきた管理画面で行ってもよいのですが、SOY CMSには「エントリー管理者」という、「エントリーの操作しかできない管理権限レベル」がありますので、普段はそちらを使うほうが管理画面もシンプルで簡単です。また、「**エントリー管理者（公開権限なし）（Ver1.2.3で追加）**」はエントリーの公開や公開されているエントリーの編集ができませんので、**サイト更新に承認が必要な場合などにご活用いただけます。**



「管理者の追加」

「権限設定」

エントリー管理者を追加するには、「管理者の追加」を行った上で「権限設定」を行ってください。

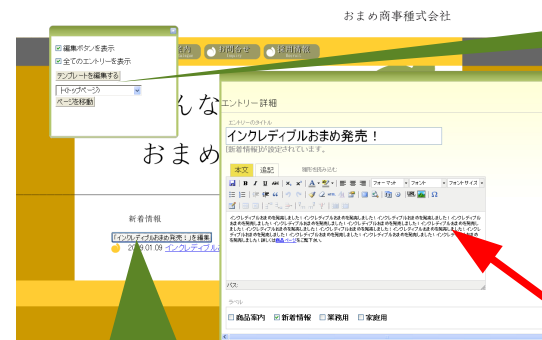
エントリー管理者の作成が完了すれば、一旦ログアウトして新たに作成した管理者のIDとパスワードでログインしなおしてください。

なお、CMSインストール時に作成した管理者以外のアカウントの場合、**権限が付与されている「サイト」がひとつしか無い場合はCMS管理画面は飛ばしてそのサイトの管理画面に直接ログインします。**



● ダイナミック編集

ダイナミック編集は、ページのプレビューでも使いましたが非常に強力な機能です。一度投稿したエントリー限定ですが、プレビューから直接編集できるので後々のちょっとした修正が非常に簡単に行えます。



状態設定ウィンドウ

このウィンドウでは、「編集ボタン」を表示するかどうか、また現在非公開または公開期間外のエントリーを表示するかどうか設定することができます。

編集ボタン

これを押すと、このウィンドウが立ち上がりエントリーの編集を行うことができます。

ぜひこれらの機能を使いこなして、充実したウェブサイトを育ててください。

お問合せ先
株式会社日本情報化農業研究所
<http://www.soycms.net/>
<http://www.soycms.org/>
<http://app.soycms.net/>
soycms@soycms.net